



□ — 「ホッカイドウ」の「アグリ」に関する「ホカホカ」情報を一

□□□□ 北海道農政事務所メールマガジン『ホカグリ通信』

□★□□□□ □

□□□□□□□□ 農林水産省北海道農政事務所

□ □□□□□ <https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/index.html>

□ □□ 令和3年11月26日発行 vol.72



<目次>

【1】ホカグリ情報局

【2】現場のきら星☆ 「心も体も元気になるおいしい野菜を」 小笠原農園 代表 小笠原保さん（幕別町）

【3】地方参事官こぼれ話 函館地域拠点 齋藤 繁雄

【4】イベント情報

■□■□■□■□■□<1.ホカグリ情報局>■□■□■□■□■□■

(1) 令和3年度農林水産関係補正予算の概要が取りまとめられました。

▽11月19日に取りまとめられた経済対策を受けて、11月26日に令和3年度補正予算が閣議決定されました。

農林水産関係の対策としては、「総合的な TPP 等関連政策大綱」に基づく施策の実施、ポストコロナ社会を見据え、農業の環境負荷軽減に向けた「みどりの食料システム戦略」やスマート農業の推進、農林水産物・食品の輸出力強化、防災・減災、国土強靱化と災害復旧等の推進、農林水産業の生産性向上、農山漁村の活性化等の推進に対応することとしています。

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r3hosei.html>

(2) 令和2年度食料産業・6次化交付金（地域での食育の推進事業）を活用した全国の取組優良事例を公表しました。

▽農林水産省は、食文化の継承や農林漁業体験機会の提供、和食給食の普及など、食や農林漁業への理解を深めるために地域で取り組む食育活動を支援しています。11月19日に全国の取組優良事例を公表しました。

【北海道の取組優良事例】

- ・北海道農政部「健康推進や食文化について学ぶ食育講座を開催」
- ・美唄市「地元農業による食育を意識した取組」

<http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/torikumi/r02.html>

(3) 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」を選定しました。

▽内閣官房及び農林水産省は 11 月 19 日に、第 8 回「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」の選定結果を公表しました。

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国へ発信しています。

第 8 回選定結果として、全国 34 地区及び 4 名、そのうち北海道から 4 地区及び 1 名が選ばれました。

【選定結果（北海道）】

環境大善株式会社（北見市）、北広島商工会「きたひろしま開拓プロジェクト委員会」（北広島市）、当麻土地改良区（当麻町）、株式会社 ELEZO 社（豊頃町）、日向 優（陸別町）

https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/211119_4.html

また、毎年、全国選定された地区以外の優れた取組を農林水産省が地域毎に選定しており、北海道では 2 地区及び 1 名が選ばれました。

【選定結果】

北海道真狩高等学校（真狩村）、株式会社 KOYA.lab（本別町）、赤井 義範（八雲町）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/211119.html>

（４）令和 3 年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10 月 25 日現在）について

▽農林水産省は 11 月 9 日に、「令和 3 年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10 月 25 日現在）」を公表しました。全国及び北海道地域の概況は以下の通りです。

・北海道

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/press/toukei/seisan/211109.html>

・全国

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y3

（５）令和 3 年度（第 60 回）農林水産祭天皇杯等の選賞について

▽農林水産祭中央審査委員会において、令和 3 年度（第 60 回）農林水産祭の天皇杯受賞者、内閣総理大臣賞受賞者、日本農林漁業振興会会長賞受賞者が決定されました。

農林水産祭は、国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに、農林水産業者の技術改善及び経営発展の意欲を高めるため、農林水産省と公益財団法人日本農林漁業振興会の共催により実施しています。

天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞は、過去 1 年間（令和 2 年 7 月～令和 3 年 6 月）の農林水産祭参加表彰行事において、農林水産大臣賞を受賞した中から決定されたものです。

【北海道の天皇杯受賞者】

・きたみらい玉葱振興会（北見市）

<http://www.affskk.jp/sub2.html>

（６）統計情報

○北海道の農林水産基本データ集を更新しました。

<http://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/kihondata/kihondata.html>

(7) BUZZ MAFF『なまらでっかい道』をご覧ください。

▽農林水産省は、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を伝えるため、職員がスキルや個性を活かして、省公式 YouTube チャンネルで情報発信をしており、北海道農政事務所でも「なまらでっかい道」というチームが発信しています。

11月発信動画

・【検証】官僚系 YouTuber が 10 日間だけ美容系 YouTuber になってみた！

<https://www.youtube.com/watch?v=nVebCCPhoNM>

10月発信動画

・子牛と僕と、時々おとん。【牧場物語 1】

<https://www.youtube.com/watch?v=uCGW9UtaBk8>

・モォ〜ニングルーティン【牧場物語 2】

<https://www.youtube.com/watch?v=rgYbxZEIOMM>

○BUZZ MAFF『なまらでっかい道』の web ページ

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/buzzmaff/index.html>

◇以下は、前号までにお知らせした内容の再掲です。

(8) 令和3年度「北海道農業をめぐる事情」を作成しました。

▽北海道農政事務所は、北海道農業に関するデータや各種政策の動向などをまとめた「北海道農業をめぐる事情」(令和3年度版)を作成しました。ぜひご活用ください。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/policy/jyousei/meguruzizyou_2020.html

(9) 令和3年度全国ジビエフェアを開催します。

▽農林水産省は、ジビエ(野生鳥獣肉)をもっと知って食べていただく取組の一環として、11月1日(月曜日)から来年2月28日までの間、令和3年度「全国ジビエフェア」を開催します。この間特設サイトにて、ジビエメニューを提供する飲食店やジビエ商品を販売する小売店の情報を提供します。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/211027.html>

(10) 「ゼロカーボン北海道タスクフォース地方支分部局レベル会合」の資料を Web サイトに掲載しています。

▽令和3年8月4日、国において「ゼロカーボン北海道」タスクフォースが設置され、北海道における脱炭素の取組を支援する関係府省の体制が整備されました。また、北海道においてもタスクフォースの地方支分部局レベル会合が発足し、北海道農政事務所も含め関係機関が連携して、現場において機動的・効果的な支援を実施することとしています。

この地方支分部局レベル会合関連の資料や議事の概要を下記に順次掲載してまいりますので、ご活用下さい。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/kikaku/zch.html>

(11)「農林水産省地球温暖化対策計画」及び「農林水産省気候変動適応計画」を改定しました。
▽農林水産省は、10月27日に、「みどりの食料システム戦略本部」の第6回会合を開催し、「農林水産省地球温暖化対策計画」及び「農林水産省気候変動適応計画」を改定しました。

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/211027.html

(12)「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」推進パートナーを募集しています。
▽農林水産省は本年度、これからの日本の食を確かなものとしていくための新たな国民運動「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」を開始しました。

10月18日から、本運動の趣旨に共感いただける企業・団体及び個人の方を「推進パートナー」としてご登録いただく取組をスタートしました。ご登録いただくとロゴマークの使用などができます。

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/211018.html>

(13) 令和3年度食品表示・製造工程管理セミナーの開催について

▽北海道農政事務所は、(独)農林水産消費安全技術センター札幌センターと共催で、下記の日程により、令和4年3月末で猶予期間が終了する加工食品の原料原産地表示制度や HACCP をテーマとしたセミナーを開催します。

網走地区 12月1日(水曜日) 13時00分～15時30分

根室地区 12月9日(木曜日) 13時00分～15時30分

※各回定員50名

申込締切：各地区開催日の2日前までにインターネット又はFAXでお申し込みください。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/press/anzen/hyoji/211001.html>

(14) 新型コロナウイルス感染症に係る相談窓口を設置しています。

▽農林水産省は、新型コロナウイルス感染症に係る農業者や食品事業者等からの相談に適切に対応するため、相談窓口を設置しておりますので、お困りのことがありましたら、ご相談ください。

○北海道農政事務所企画調整室

担当者：倉知(クラチ)、正満(ショウマン)

電話番号：011-330-8801

FAX 番号：011-552-0530

対応時間：平日9時00分から17時00分

全国の相談窓口一覧

http://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html#c06

○水産仲卸業者サポート窓口(水産庁加工流通課等)

電話番号：03-6744-2351

E-mail：suisan_nakaoroshi@maff.go.jp

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kakou/210224.html>

○新型コロナウイルス感染症対策(内閣官房)

▽新型コロナウイルス感染症対策に関する情報の全般について、内閣官房のWebサイトに掲載され

ています。

<https://corona.go.jp/>

(15) 子どものコーナーを掲載しています。

▽北海道農政事務所は、Web サイトにおいて子どものコーナーを公開し、農産物クイズや、スプラウトの栽培体験などを掲載しています。主な対象は小学校4年生～6年生ですが、皆様ぜひご覧いただき、感想をお寄せください。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/kids/top.html>

(16) 農林水産省広報誌「aff (あふ)」をご覧ください。

▽「aff (あふ)」は、消費者の皆さん、農林水産業関係者の皆さん、そして農林水産省を結ぶウェブマガジンです。11月は、「砂糖の魅力 再発見」を特集しています。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

■□■□■□■□■□■□ < 2. 現場のきら星☆ > ■□■□■□■□■□■□

★今月のきら星・・・「心も体も元気になるおいしい野菜を」 小笠原農園 代表 小笠原保さん(幕別町)

幕別町で、畑作物・野菜の有機栽培に取り組む小笠原保さんを紹介します。

小笠原保さんは同農園経営の3代目で、以前は幕別町役場に勤務していましたが、食に興味を持ち始め、「安心して食べられる野菜を作りたい」との思いがつのり、2012年に就農しました。

就農当初、経営面積は5haほどでしたが、現在では18haと規模拡大し、畑作物(麦類、豆類、ばれいしょ)と野菜類を栽培。経営の中心は野菜類で、レタス、スイートコーン、リーキなど約30品目を栽培しています。

また、安心して食べてもらえるものを提供したいとの願いから、2016年に有機JAS認証を取得。昨年からは全圃場で有機JAS認証を受け、安心安全、環境に優しい農業を積極的に取り組んでいます。

就農した翌年からは野菜の直売所を、昨年には「新鮮な野菜をもりもり食べてほしい」との思いから、カフェ「やさい屋カフェ菜びより」を開店するなど、積極的に事業を展開しています。

「心もからだも元気になるおいしい野菜を生産していきたい」と意欲を持って農業に取り組む小笠原さんです。

小笠原農園の詳しい情報はこちらから

→ (外部リンク) <http://oga-farm.net/>

■□■□■□■□■□■□ < 3. 地方参事官こぼれ話 > ■□■□■□■□■□■□

★今月の地方参事官・・・函館地域拠点 齋藤 繁雄

北海道産というのはよくスーパーで目にしますが、道南産のものを食べる機会はなかなかないものです。

先日、りんご生産者と意見交換する機会があり、その直営の直売所で売られているりんごを買いました。非常に安く（スーパーの半値）売られており、半信半疑で口に運んだところ、予想以上に美味しかったです。聞くところによると、りんごは多少色づきが良くなくても味はそんなに変わらないそうです。農協経由だと見た目が必要だが、直売はその点気にしなくてもよく、わかっている人は買ってくれるので、コロナ渦においても売り上げが落ちなかったとのことでした。

また、収穫前から注目していた函館産のさつまいもも食べました。あまり出回っておらず函館市亀田農協の直売所で買うことができます。さつまいもは単身赴任者にとってちょっとハードルが高いですが、女性部の方に単身赴任でも調理できる方法を教わり（さつまいもを湿らしてサランラップに包み電子レンジでチン）、食べるとこれも非常に甘く予想以上の美味しさです。

生産者や農協の方とお話しする際に、はじめに「こないだ食べた〇〇は美味しかったです。」と切り出すと自然と会話が弾むような気がします。

いずれも大規模で生産しているわけではないので、地元でしか食べることはできません。今後もいろいろな機会を見つけ、可能な限り地元産のものを地元で食べるようにしたいと思っております。

■□■□■□■□■□■□< 4. イベント情報 > ■□■□■□■□■□■□

○HACCP インストラクター育成講習の御案内について

農林水産省では、食品等事業者の皆様へ HACCP の導入に向けた人材育成や知識習得をしていただくため、研修開催への支援を実施しています。

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/koudou/what_haccp/kensyu.html

この度、食品事業者の輸出促進を前提とした衛生管理や HACCP の考え方、ISO22000 や FSSC22000 といった規格に関する解説、実在する食品工場を題材とした実践的ワークショップ等を行う「HACCP インストラクター育成講習」が開催されます。

日程及び会場：オンラインでも配信（Zoom）

- ・2021年12月16日(木)、17日(金) 兵庫会場(神戸市)
- ・2022年1月13日(木)、14日(金) 神奈川会場(横浜市)
- ・2022年1月24日(月)、25日(火) 福岡会場(福岡市)
- ・2022年2月14日(月)、15日(火) 北海道会場(札幌市)
- ・2022年2月24日(木)、25日(金) 沖縄会場(那覇市)

定員（会場参加）：各会場 15 名

費用：27,500 円

下記 URL からお申し込みください。

<https://foods-a.co.jp/seminarlist/uketsuketyuu/2019-09-26-01-51-48>

○JFOODO シンポジウム 2021 日本のおいしい！を世界へー海外のマーケットで稼ぐ！ー
コロナ禍においても輸出に積極的に取り組み、JFOODO プロモーションを活用し、成果を挙げられている JFOODO プロモーション参加事業者 2 社様から取組事例を講演いただきます。

後半のパネルディスカッションでは、生産者、海外消費者、研究者、JFOODO のそれぞれの視点から、官民一体となった海外での販売力強化に向けたビジョンを語り合います。

日 時：12 月 9 日（木曜日）14 時 00 分～16 時 00 分

開催方法：オンライン開催（YouTube を利用したライブ配信）

※お申込み頂いた方に視聴用 URL を後日送付します。

申込締切：12 月 8 日（水曜日）17 時 00 分

下記 URL にアクセスいただき、必要事項をご入力の上お申し込みください。

（今回初めてご参加される方は、「お客様情報登録」（無料）が必要です。）

<https://www.jetro.go.jp/events/jfa/82a8a25df105c06a.html>

○道南地域農林水産業の諸課題解決に向けたオンラインセミナー 第 1 回「地域資源を有効活用した地域振興」

北海道農政事務所函館地域拠点では、道南地域の農林水産業諸課題から、3 つの課題（地域振興、みどりの食料システム戦略、労働力確保）を対象としたテーマを設定し、それぞれの関係者及び消費者と認識の共有を深化させるため、3 回のオンラインセミナーを開催します。

日 時：令和 3 年 12 月 7 日（火曜日）13 時 30 分～14 時 30 分

開催方法：オンライン形式（Zoom）

申込締切：令和 3 年 12 月 2 日（木曜日）17 時 00 分

下記 URL からお申し込みください。

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokkaido/form/hakodate/r31207moushikomi.html>

▽北海道農政事務所の各地域拠点では、Web サイトを開設しています。地域の取組や身近な情報の発信などを行っていますので、ぜひご覧ください。

○札幌地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/sapporo/index.html>)

○函館地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/hakodate/index.html>)

・七飯町の果樹生産者との意見交換

https://www.maff.go.jp/hokkaido/hakodate/photorepo/torikumi/20211915_nanaeseisansya_ikenkoukan.html

・有機肉用牛を飼育する大学付属牧場との意見交換

https://www.maff.go.jp/hokkaido/hakodate/photorepo/torikumi/20211018_yuukinikuyougyu_kitazatodaigaku.html

・長万部町のミニトマト植物工場における意見交換

https://www.maff.go.jp/hokkaido/hakodate/photorepo/torikumi/20211019_osyamanbe_syokubutukoujou.html

・知内町の米生産者との意見交換

https://www.maff.go.jp/hokkaido/hakodate/photorepo/torikumi/20211029_shiriutikome_ikenkoukan.html

・農林水産統計業務協力者に対し農林水産大臣等の感謝状を授与しました。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/hakodate/photorepo/torikumi/20211021_kanshagyou.html

・函館市亀田農協青年部の挑戦－さつまいもの栽培－

https://www.maff.go.jp/hokkaido/hakodate/photorepo/gennba/20211013_jakameda_satsumaimo.html

○旭川地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/asahikawa/index.html>)

○釧路地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/kushiro/index.html>)

・北海道農政事務所の若手職員 2 名が農村派遣研修を行いました。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/kushiro/photorepo/20211020_kensyuu.html

・「釧路デーリィコンシェルジュ」が消費者へ地元の牛乳・乳製品を PR

https://www.maff.go.jp/hokkaido/kushiro/photorepo/20211027_deiri-konsyeruju.html

・農林水産統計業務協力者に対し農林水産大臣感謝状等を授与しました。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/kushiro/photorepo/20211108_toukei.html

○帯広地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/obihiro/index.html>)

・十勝池田町農業協同組合と意見交換を行いました。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/obihiro/photorepo/torikumi/20211021_ikeda.html

・農林水産統計業務協力者に対し農林水産大臣感謝状を授与しました。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/obihiro/photorepo/torikumi/20211025-28_toukei.html

○北見地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/kitami/index.html>)

・農林水産統計業務協力者に対し農林水産大臣感謝状を授与しました

https://www.maff.go.jp/hokkaido/kitami/photorepo/torikumi/toukeinohi_2021.html

=====
<編集後記>

先日、家の前に焼き芋の移動販売車が止まっていて思わず買ってしまいました。私はネットリ系の焼き芋が好きですが、そのとき買ったのはホクホク系でした。ホクホク系もおいしかったです。皆さんはどっち派ですか？

(担当：浅石)

=====

◇次回は 12 月下旬に配信予定です。

◇北海道農政事務所メールマガジン「ホカグリ通信」では、配信登録者を募集しています。ぜひお知り合いにもご紹介ください。

◇メールマガジンの配信をご希望の方はこちら

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/index.html>

◇バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/hok_agri_tsushin.html

=====

編集・発行：農林水産省北海道農政事務所 企画調整室

このメールマガジンに掲載された記事の無断転載を禁じます。

本メールマガジンに関するご意見・ご感想をお寄せください。

TEL:011-330-8801 FAX:011-552-0530

E-mail : hokaguri_tsushin000@maff.go.jp

=====